

2014年7月10日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

**野村アセットマネジメント、第6回「NISAに関する意識調査」結果を発表**

～NISAシーズンの到来に向けて～

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼執行役社長:渡邊国夫)は、2014年1月から始まった少額投資非課税制度(以下「NISA」)に関する認知や利用意向などについて、6月上旬に4万人を対象に実施したインターネット調査の結果を公表した。

この調査は、昨年3月、7月、10月、今年2月に実施した「NISAに関する意識調査」に続いて行ったもので、投資家のNISAに関する意識の変化を継続的に調査・分析している。なお、1月には第4回調査として、NISAに関心がある投資未経験者を対象にグループ・インタビュー調査を実施している。

主な調査結果は以下のとおりである。

**NISAに対する認知と利用意向**

NISAに関する認知率は、前回2月の78%から、80%と小幅ながらも上昇した。NISAの利用意向率は、2月の26%から23%に僅かに低下。「利用を考えていない」という非意向者の割合は65%と調査開始以来6割程度で変わらない。

**NISA口座開設者の投資実行状況**

NISA口座開設者は20%。そのうち、投資実行者は45%で、「シニア層」「既存投資家」が中心となった。株式に投資した割合と投資信託に投資した割合は、概ね拮抗している。

**NISA口座における投資成果**

NISA口座ですでに売却している割合は、14%となった。調査時点における投資の成果をみると、売却益および含み益を合わせて「利益が出ている」が48%、売却損および含み損を合わせて「損失が出ている」が19%、「未売却でわからない」が33%であった。

**投資意向者の投資時期**

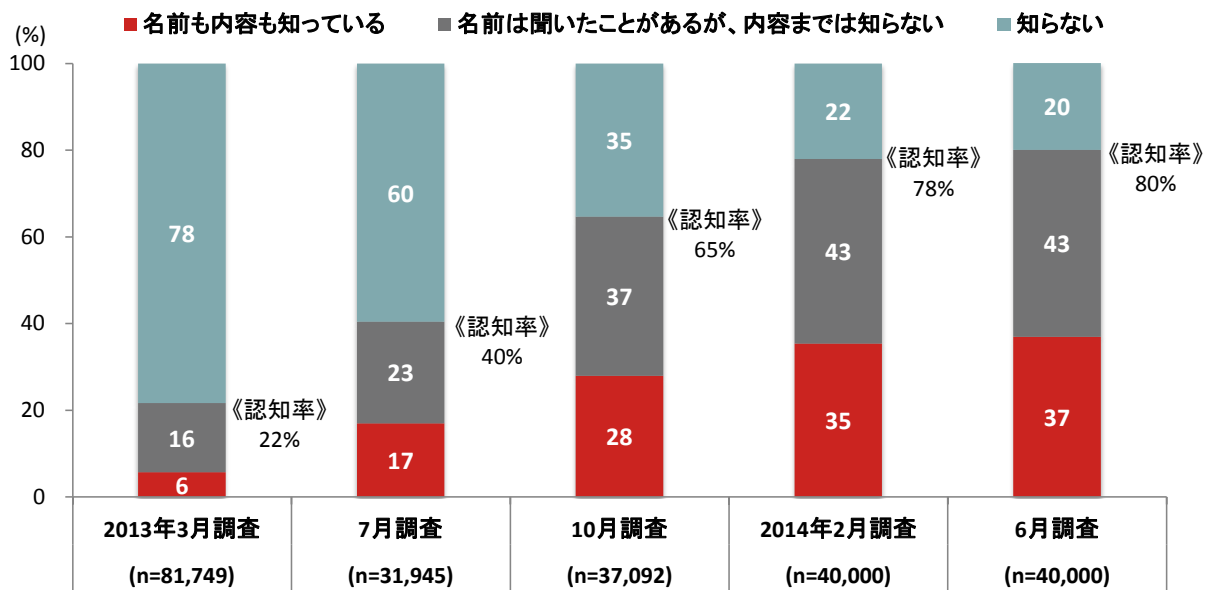
NISA口座でまだ投資をしていない投資意向者の67%が2014年10-12月期に投資を行うとし、年末に向けて今年の非課税枠を使う意向が高いことが分かった。このことから、10月以降を「NISAシーズン」として注目したい。

## 【調査結果】

### NISAに対する認知

NISAに関する認知状況をみると、「知っている」と答えた割合は、80%と前回2月から小幅ながらも上昇した。制度が始まって約半年が経過したこともあり、NISAは広く浸透したものと見られる。

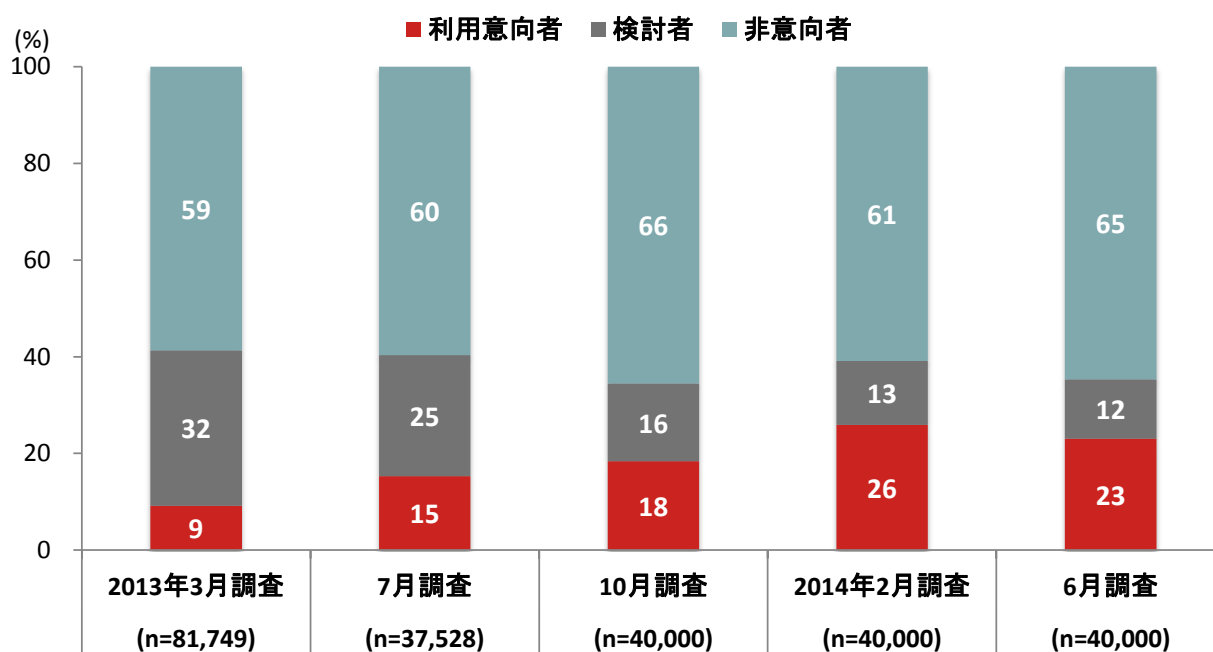
Q) あなたは、NISAについて、ご存知ですか。(事前調査 n=40,000)



## 利用意向

NISAの利用意向率は、前回2月調査から僅かに低下し、23%となった。「利用を考えていない」という非意向者の割合は65%と、調査開始以来6割程度で変わらない。投資経験者を中心にNISAの利用意向は高まっているが、投資未経験者への普及は今後の課題と言えよう。

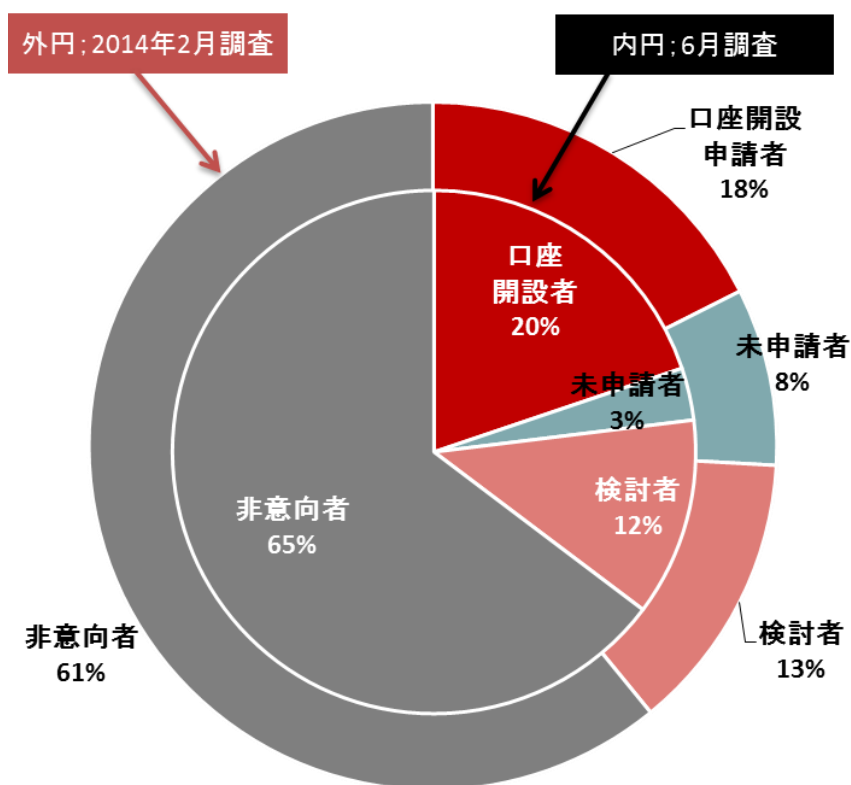
Q) あなたは、NISAについて利用したいですか。(事前調査 n=40,000)



## NISA口座開設申請状況

NISA口座開設者は全体の20%と前回の2月調査から増加した一方、未申請者の比率が低下しており、利用意向者の口座開設の動きは着実に進んでいる。

Q) あなたは、すでに非課税口座開設届出書などを金融機関に提出し、NISA口座を開設していますか。(事前調査 n=40,000)



(注)2014年6月調査「口座開設者」には「申請者」を含む。

## NISA口座開設者の投資実行状況

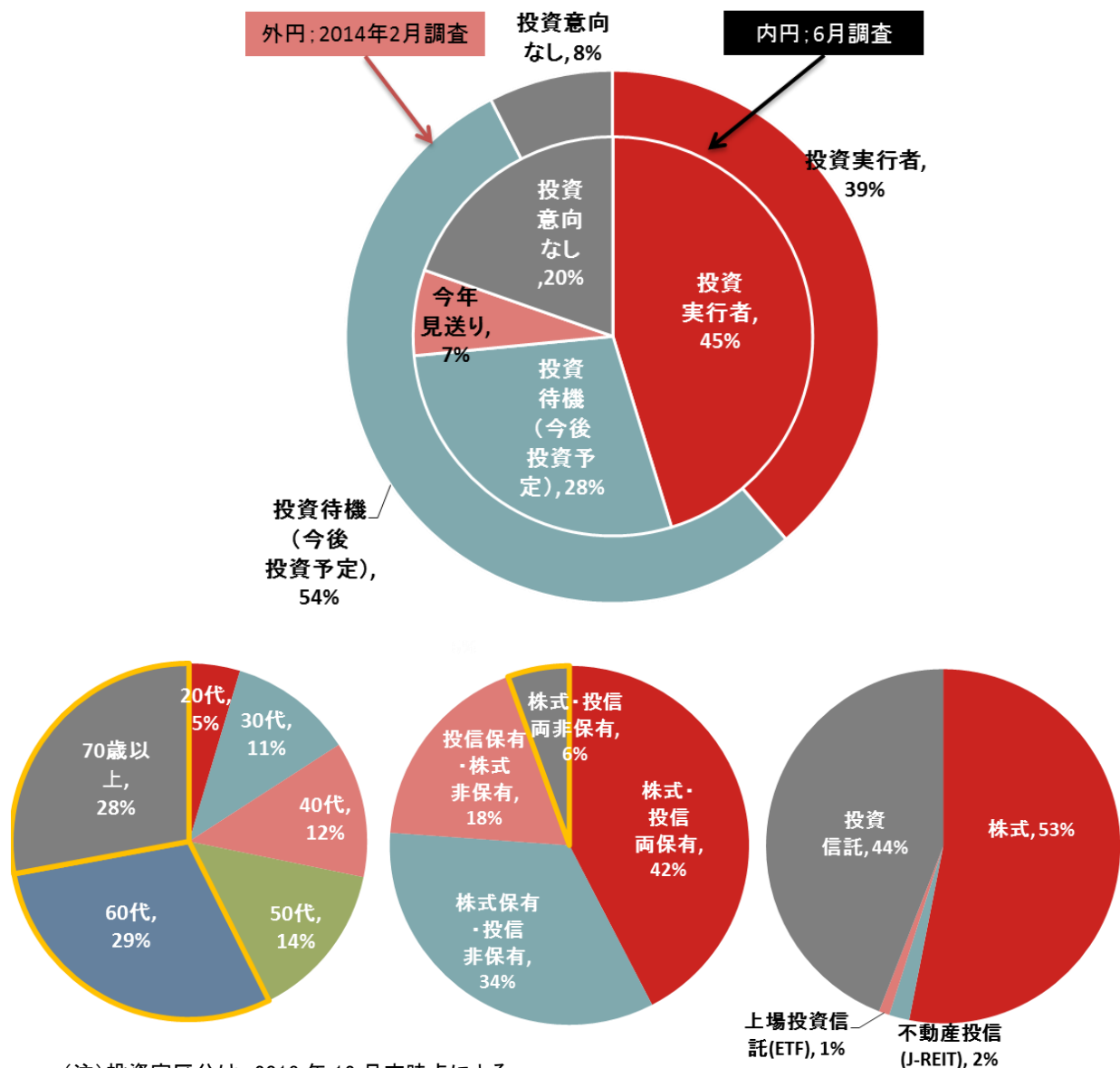
NISA口座開設者のうち、45%が投資をすでに始めている。投資実行者の57%は60歳以上のシニア層である。また、既存投資家が約9割を占め、株式・投信を持っていない投資未経験者は6%に留まっている。NISA口座で投資した商品についてみると、株式に投資した割合が53%、投資信託(含む、ETF、J-REIT)に投資した割合が47%と、概ね拮抗している。

Q) すでに非課税口座開設届出書などを金融機関に提出し、NISA口座開設の申し込みを済ませていますか。またNISA口座ですでに投資を行っていますか。

(事前調査 NISA口座開設者・申請者 n=7,927)

【NISA口座開設者・申請者における投資実行状況 (n=7,927)】

【投資実行者の年代別構成比・投資家区分・投資対象別 (n=3,587)】

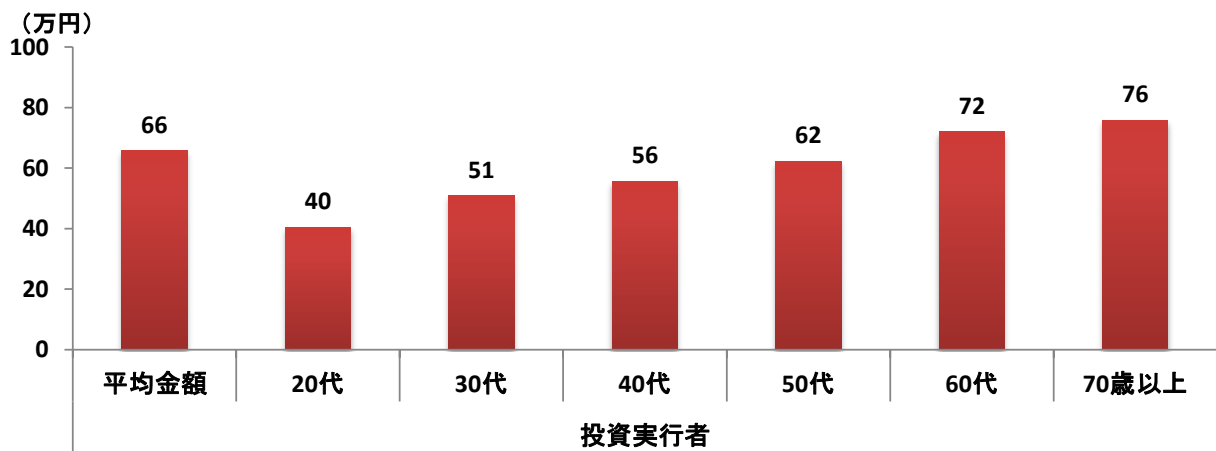


## 投資額

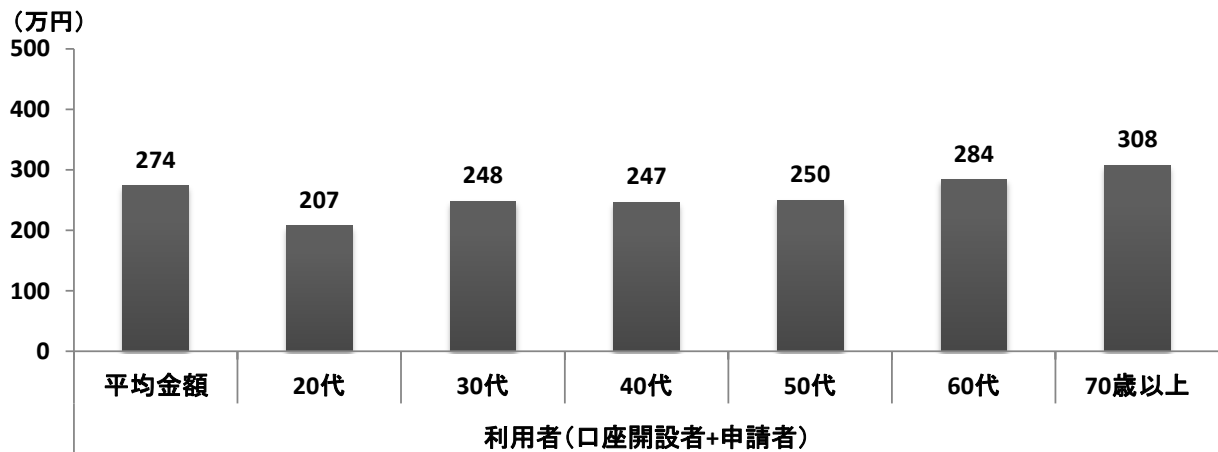
すでにNISA口座で投資した実行者の投資額は平均で66万円(毎月積立投資額を含む)となった。口座開設者・申請者が5年間で投資したい額は平均で274万円であった。

Q) NISAについて、投資意向額をお知らせください。なお、投資額の上限は、年間100万円とし、その5年分である500万円までとなっています。(事前調査 n=40,000)

【投資実行者における投資実績額 (n=3,587)】



【5年間累計投資意向額 (n=7,927)】

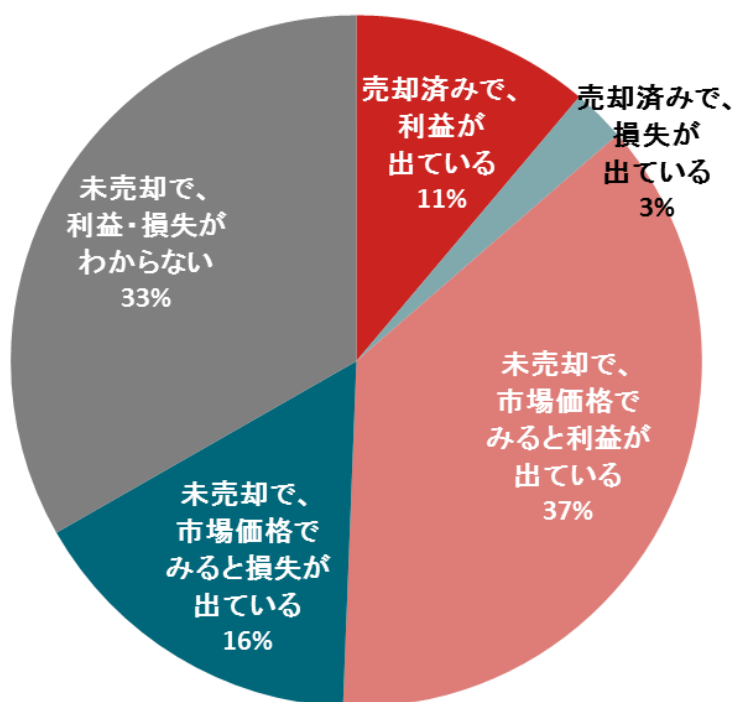


## NISA口座における投資成果

NISA口座ですでに売却している割合は、14%となった。調査時点における投資の成果をみると、売却益および含み益を合わせて「利益が出ている」が48%、売却損および含み損を合わせて「損失が出ている」が19%、「未売却でわからない」が33%であった。

Q) すでにNISA口座で投資した方にお伺いします。現時点での損益をお答えください。

(本調査 投資実行者 n=484)



### 投資意向者の投資時期

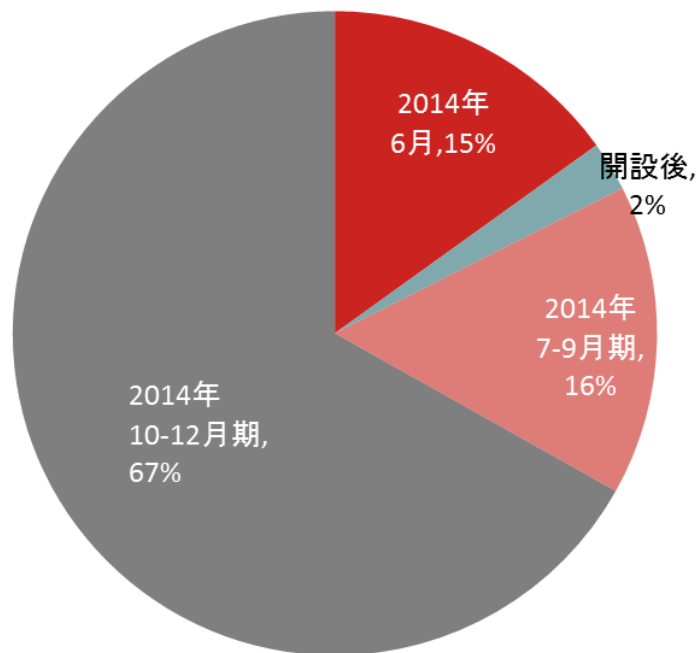
NISA口座でまだ投資をしていない投資意向者の67%が2014年10-12月期に投資を行うとし、年末にむけて今年の新課税枠を使う意向が高いことが分かった。このことから、10月以降を「NISAシーズン」として注目したい。

ちなみに、英国がISAを導入した初年度(1999年度)について、ISA口座での投資信託の月次設定状況をみると、年度末に向けて拡大しており、英国でも当初から「ISAシーズン」が見られた。

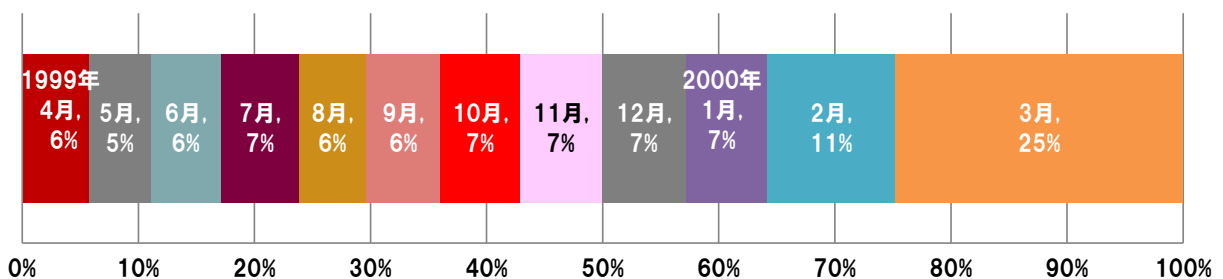
Q) NISA口座を開設あるいは申請した方にお伺いします。まだ投資をしていない方や口座開設申請中の方は、投資を予定している時期についてお答えください。

(事前調査 NISA口座開設者・申請者 n=7,927)

【NISA口座開設者・申請者のうち、投資を行っていない投資意向者の投資時期(n=2,235)】



【参考】英国ISA・導入初年度(1999年度)におけるISA口座の投資信託設定額の月次シェア



(資料)英国・投資運用業協会(The Investment Management Association (IMA))のインターネット・サイト  
 “<http://www.investmentuk.org/>”から野村アセットマネジメント作成

以上



## 【調査概要】

### ■調査目的

NISAや投資信託について、幅広い層での認知や利用意向等を聴取し、投資家の意識を把握すること。

### ■調査対象・サンプル数

事前調査(40,000サンプル):20歳以上の男女(調査会社インテージに登録しているモニター)から4万サンプルを対象に調査を実施。NISAに関する認知や利用意向などを調査。なおサンプル構成について、平成22年度国勢調査の性別年代別構成比に合わせ、ウエイトバックというサンプル数補正をおこなった上で集計処理を行っている。

本調査(3,000サンプル):NISA実態別の3区分別に性年代別に概ね均等に割り付けを行っている。

#### 【性年代別サンプル数】

【事前調査サンプル数】 (スクリーニング調査)	20代			30代			40代					
	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
合計	2,701	2,627	5,328	3,472	3,379	6,851	3,919	3,856	7,775			

50代			60代			70歳以上			合計		
男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
3,242	3,268	6,510	3,711	3,922	7,633	2,675	3,228	5,903	19,720	20,280	40,000

【本調査サンプル数】	20代			30代			40代					
	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
合計	289	210	499	250	250	500	250	250	500			

50代			60代			70歳以上			合計		
男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
250	250	500	250	250	500	260	241	501	1,549	1,451	3,000

### ■調査地域

全国(インターネット調査)

### ■調査時期

2014年6月3日(火)～6月10日(火)

### ■調査機関

調査主体:野村アセットマネジメント株式会社 調査実施機関:株式会社インテージ

※ 過去の調査結果については、野村アセットマネジメントのNISA情報サイトに掲載しています。

URL:<http://www.nomura-am.co.jp/nisa/report/>